

主日礼拝

2021年07月18日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「主よ、わたしの祈りを聞いてください。
この叫びがあなたに届きますように。
苦難がわたしを襲う日に
御顔を隠すことなく、御耳を向け
あなたを呼ぶとき、急いで答えてください。」
(詩編102:2,3)

交読詩編 103:1~8

司式者：わたしの魂よ、主をたたえよ。
会衆：わたしの内にあるものはこそって
聖なる御名をたたえよ。
司式者：わたしの魂よ、主をたたえよ。
会衆：主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。
司式者：主はお前の罪をことごとく赦し
会衆：病をすべて癒し
司式者：命を墓から贖い出してくださる。
会衆：慈しみと憐れみの冠を授け
司式者：長らえる限り良いものに満ち足らせ
会衆：驚のような若さを新たにしてくださる。
司式者：主はすべて虐げられている人のために
会衆：恵みの御業と裁きを行われる。
司式者：主は御自分の道をモーセに
会衆：御業をイスラエルの子らに示された。
司式者：主は憐れみ深く、恵みに富み
会衆：忍耐強く、慈しみは大きい。

祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 マタイによる福音書 8:5~13

新約(新共同訳) P13

さて、イエスがカファルナウムに入られると、一人の百人隊長が近づいて来て懇願し、「主よ、わたしの僕が中風で家に寝込んで、ひどく苦しんでいます」と言った。そこでイエスは、「わたしが行って、いやしてあげよう」と言われた。すると、百人隊長は答えた。「主よ、わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えできるような者ではありません。ただ、ひと言おっしゃってください。そうすれば、わたしの僕はいやされます。わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また、部下に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」イエスはこれを聞いて感心し、従っていた人々に言われた。「はっきりしておく。イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。言うておくが、いつか、東や西から大勢の人が来て、天の国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席に着く。だが、御国の子らは、外の暗闇に追い出される。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。」そして、百人隊長に言われた。「帰ちなさい。あなたが信じたとおりになるように。」ちょうどそのとき、僕の病気はいやされた。

賛美 402 「いともとうとき」

I love to tell the story
詞：Katherine Hankey, 1834-1911

TELL THE STORY (HANKEY)
曲：William G. Fischer, 1835-1912

いともとうと-きイエスのめぐみ、つみに死にたる
身-をもい-かす。主よりたまわるてんのかて-に
(くりかえし)
うえしこころもいまはみちぬ。世にあるかぎり、
主のみさかえといつくしみとをかたりつたえん。

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | いともとうとき イエスの恵み
罪に死にたる 身をも活かす。
主よりたまわる 天の糧に
飢えしこころも いまは満ちぬ。 | 2 | 救いの恵み 告ぐるわれは
喜びあふれ 歌とぞなる。
滅びを出し この知らせを、
あまねく人に 語り伝えん。 |
| | (くりかえし)
世にあるかぎり、主のみ栄えと
いつくしみとを 語り伝えん | 3 | 語り尽くせぬ イエスの恵み。
いとも小さき われをも召し、
天の世嗣と なしたまえば
たれか洩るべき 主の救いに。 |

説教 「ひたむきさが救う命」

賛美 543 「キリストの前に」

詞：奥野昌綱, 1823-1910
改定：改訂委員会, 1996

MAJIWARI
曲：高浪晋一, 1941-

1 キリストの まえに よろこび あつまり、
2 キリストの ために じぶんを ささげて、▶
3 キリストを たより かしらと あがめて、
キリストの あいを かんしゃして うたおう。
▶ キリストの みちを たすけあい すすもう。▶
キリストに こたえ しんじつに 生きよう。
キリストに ならい だれをも へだてず
▶ キリストは での あしさえ あらわれ、▶
キリストの めぐみ この世に つたえて、
たがいに はげまし たがいに つかえよう。
▶ みずから つかえて もはんと なられた。
たがいに いのろう、 みくにが くるまで。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝禱

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 佐々木 悠
説教 向井 希夫牧師
奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。